

(様式)

令和6年度 女子サッカー部の指導方針等について

令和6年5月10日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	福田 貴士	蔵元 和弘	4級審判、コーチ経験多数	週1日
副顧問	小林 直貴			
副顧問	豊田 典子			

2 年間目標

- 心身を鍛えることで人格の向上を図る。
- 自己の向上だけでなく、他人の特性を理解し、他人の気持ちを考え、共に成長する。
- サッカーの技術向上を図り、チームの勝利に貢献する態度を育成し、東京都女子サッカー高校1部リーグ昇格を目指す。
- 選手としてだけでなく、大会の係、副審をすることにより、外部と協力できる人材となる。

3 指導方針

- 厳しさと寛容の態度を持ってチームメイトと接するようにする。
- 試合や練習の準備・練習メニューなど、可能な限り自分たちで考えて何事も自主的に行動させる。
- 練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、短時間に集中して行う。
- 月に1～2回程度、競技力を高めるため練習試合を行う。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- 日々の練習から生徒間で技術や戦術の是非を話し合うなどして、自主性を尊重した指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開する。

(2) 生徒間の暴力禁止

- 生徒相互の理解のためにサッカーノートを作成し、チームメイトで回覧することにより日常的に生徒間の意志疎通を図る。
- 練習終了ごとにミーティングを行い、各自の意見を述べる機会を与える。
- 上級生が「人・物・場所」を大切にすることを実践し、下級生に伝え、指導する。

(3) 外部指導員の活用

- 技術指導の補填のため、部活動指導員を依頼する。

※ 4(1)から(3)までの3項目は、必ず記載する。